

全道議員研修会

6月30日、札幌市において平成21年度北海道町村議会議員研修会が開催され、全道より約1700名の議員が参加した。

始めに山梨学院大学教授の江藤俊昭氏が「住民自治時代の議会の役割と課題」と題して講演し、地方自治の原則の再確認と二元代表制について説明、栗山町で始めて制定した議会基本条例の先駆性と、福島町・白老町で改革された通年議会の取り組みを紹介される又、福島県矢祭町で実施された議員報酬の日当制についての問題点も指摘した。

二人目として読売新聞特別編集委員橋本五郎氏が講演を行い「どうなる日本の政治と経済」と題し衆議院選挙も近いこともあり、今日の政界の混乱を痛烈に批判し、政治は国民の生命とくらしを守り世界に尊敬される努力をすべきと語る。又、最後に古里・秋田県での母親が亡くなるまでの思いや深い愛情について語り、地方を軽視した国の行財政改革を危惧し講演を終える。

町内視察

6月12日議員全員で町内視察を実施

○北星園建設工事

昭和48年に建設され老朽化と居住性が悪くなり建替えが検討されてから数年がたち、今年10月改築工事が見事な進捗状況となった。現在の進捗状況は全体で概ね60%である。

建設中の建物の中に入るとその概要が想像出来る状態になっていた。広い食堂部分建物の中央に中庭広場そして居室は2人部屋10室と個室が40室、ショールームと個室にも2室あり、今までの環境とは比較にならない程快適なものと思われる。



北星園建設現場

また、北星園では数年前から有機栽培に取り組んできた。同じ野菜を作るにしてもより販売価格の高い物お客様により安全で安心して食べていた、ただける物として始め、その需要も多く順調に売れている。昨年の秋新しくビニールハウスを2棟増設し、現在そのハウスにミニトマトが元気よく育っていた。



北星園有機栽培ハウス

れるユニバーサルデザインとなっていて、老人や身体に障害のある方でも全ての人に優しく安心して住める造りになっていた。

○幌延深地層研究センター

立杭工事の進捗状況を視察し、東立杭からと換気立杭の2ヶ所から深部に降りた。

東立杭は140mまで換気立杭は250mまで掘削され地下140mで両杭をつなぐ水平杭道が貫通し一部測定機材等による研究がなされ、工事は順調に進められていた。

今後更に工事が進むが、目的の500mまで進むと、どの様な状況になっているのか完成が待たれる。



幌延深地層研究センター

編集にあたって

今回6月の定例会で議会報発行特別委員が、新しく選任されました。議会報発行作業は、まったく不慣れですが、日頃の議会活動の確認の意味では大変勉強になると考えています。

また、前回から町の広報誌と合併となり、この機を活用し町民の皆様に分かりやすく迅速にお伝え出来ればと考えています。

今後とも宜しくお問い合わせ致します。



- 編集委員長 植村 敦
- 副編集委員長 無量谷 隆
- 編集委員 菅原 利彦
- 西沢 裕之